道徳学習指導案

庄原市立高小学校
教諭 吉岡 欣哉

- 1 日時 平成28年6月30日(木) 第3校時
- 2 学年 第4学年 男子10名 計10名
- 3 主題名 本当の思いやりとは 【B 親切, 思いやり】
- 4 ねらい おばあさんに声をかけた方がいいかどうか困っている時にどうすればよいかを考えることを通して、相手のおかれている状況を自分のこととして想像することの大切さに気づき、相手のことを考え思いやろうとする意欲を育てる。
- 5 資料名 「心と心のあく手」【出典：「わたしたちの道徳 小学校三・四年」文部科学省】

6 主題設定の理由

本主題は、内容項目のB「主として人との関わりに関すること」の(6)「相手のことを思いやり、親切にすること。」に当たる。この段階においては、学校生活を中心として友だち同士の交流が活発になるとともに、活動範囲も広がってくる。様々な人々との関わりが次第に増えていく中で、相手の気持ちを察したり、相手の気持ちをより深く理解したりすることができるようになる。一方、ともすると他の人々の考え方や感じ方が自分たちの考え方や感じ方と同様であると思いがちになることもこの時期の特徴と言われている。そのため、相手に対する思いやりの心を育てることが一層重要になると考え本主題を設定した。

<略>

本教材、「心と心のあく手」は、学校の帰り道、家に急いでいたら、おばあさんに会う。主人公のはやとくんは、「荷物を持ちましょうか。」と声をかける。しかし、おばあさんは、断って歩いていった。あとから、お母さんからおばあさんの話を聞く。数日後、またおばあさんに会い、主人公は自分のできることは何だろうか考える。おばあさんのことを考えて行動しようとする主人公の気持ちに寄り添うことによって、相手のことを考えて行動することが思いやりであると考えられる教材である。

指導に当たっては、「ともに考え、話し合う」問題解決的な学習のプロセスを用いて学習を行う。「①問いの共有化」のプロセスにおいて、アンケート結果を基に、自分や友だちの正直に対する意識を確認し、正直という道徳的価値に係る問題意識をもたせる。「②個人思考」のプロセスにおいては、資料の道徳的問題に気付かせ、主人公はどうすればよいかを考えさせる。「③集団思考」のプロセスにおいては、小集団での話し合いであるバズ・セッション及び学級全体での交流を活用し、自他の考えを知り、友だちの考えと多面的・多角的に交流する活動をさせる。「④再構築」のプロセスにおいては、当為の観点から問い直しを行い、正直とはどういうことかを考えさせる。「⑤振り返り」のプロセスにおいては、「自己を見つけること」「自己の生き方」についての二つの観点で振り返りを行い、道徳的実践意欲につなげていきたい。

7 学習指導過程

	プロセス	主な発問と予想される児童の心の動き 【○基本発問 ◎中心発問】	指導上の留意点
導入	①問いの共有化 これまでの生活体験について、アンケート調査の結果	○思いやりということについてどう思いますか。 ・困っている人は助けること。 ・おじいさんやおばあさんにやさしくすることです。 ・小さい子供に声をかけることです。 ・人を助けることです。	○児童の生活体験を短時間で想起させるため、事前アンケートの結果をまとめた資料を提示する。

	<p>を基に考える。</p>	<p>○人を助けない人は思いやりがないということですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そんなことはないけど…。 ・こんな経験のない僕には思いやりがないのかな。 <p>本当の思いやりとはどんなことなのでしょう。</p>	<p>○アンケートの項目について、人助けができなかった場合は思いやりがないのかを尋ねることを通して、自分の考えの分かっていなかったことに気付かせ、問いの共有化を図る。</p>
<p>展 開</p>	<p>②個人思考 教材前半を読んで、はやとだったらどうするかを考える。</p> <p>③集団思考 グループで自分の考えを交流する。</p> <p>④再構築 自分の考えを当為の観点で問い直しをする。</p>	<p>○みんなが考えたい問題は何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おばあさんに声をかけるか、かけないか。 ・おばあさんに声をかけないほうがいいのか。 <p>○あなたがはやとなら、どう行動しようと思いますか。それはなぜですか。</p> <p>○グループで友だちの考えを交流しましょう。なるほどと思った意見や納得した意見はワークシートに書きましょう。</p> <p>声をかけて聞いてみる</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このままほうっておくと、おばあさんに何かあったらいけないから。 ・聞いてみないと断られるかどうか分からないから。 ・このまま帰ったらおばあさんのことがずっと心配になるから。 <p>声をかけない</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おばあさんは、歩く練習をしているから。 ・前に声をかけて断られたから。 ・声をかけて断られたらいやだから。 <p>○おばあさんの立場だったらどれが大切だと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声をかけてもらっても断るから声をかけてもらってもいい。 ・歩く練習をしているから声をかけないでほしい。 <p>本当の思いやりとはどんなことなのでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声をかけるだけでなく、見守ることも思いやり。 ・相手のことを思うことが大切。 <p>○あなたがはやとなら、どう行動しようと思いますか。それはなぜですか。</p>	<p>○教材の内容を捉えやすくするために、登場人物とあらすじを簡単に説明してから読む。</p> <p>○自分が主人公だったらどうするかを考えるために、どうするか、理由の二つの視点で考え、ワークシートに記入させる。</p> <p>○自分の考えと比較して多面的に考えさせるために、同じ考えの児童同士をグループにして、理由の部分进行交流させる。</p> <p>○再構築において自分の参考にさせるために、友だちの意見で自分と違う意見で納得できるものはワークシートに記入させる。</p> <p>○違う行動を選択した友だちの考え方を分からせるために、クラスの全体で交流させる。</p> <p>○当為の観点を基に考えた後、登場人物の</p>

			考えを知るために、 教材後半を読む。
終末	⑤振り返り 道徳的価値について考えたことを振り返る。	○気付いたことや考えたこと、自分はこうなりたいなあと思ったことを書きましょう。 ・自分は相手のことを考えて行動したい。 ・友だちの話を聞いて納得できる意見が多くて参考になった。 ・思いやりがあるからこそ、しないほうがいいこともある。	○「自己を見つめること」「自己の生き方」についての二つの観点で振り返りを書かせる。

8 評価について

【評価の観点】相手のことを思いやり、行動しようとする意欲が高まったか。

【評価の方法】ワークシート

9 板書計画

六月二十八日 心と心のあく手

思いやり

- ・困っている人は助けようと心がける。
- ・やさしくすること。
- ・小さい子供に声をかけること。

本当の思いやりとはどんなことなのでしょうか。

場面絵

はやと
「荷物、持ちます。」↓断られる…歩く練習
数日後
とても暑い日。立っているだけでつらい。
この前より足取りが重い。

ぼくだったら？

どうする

声をかける

↕

声をかけない

理由

- ・何かあったらいけない。
- ・聞いてみないと分からない。
- ・心配になるから。
- ・歩く練習をしているから。
- ・前に断られたから。
- ・断られたらいやだから。

おばあさんなら？

- ・声をかけてもらってもだめなら断る。
- ・声をかけないでほしい。

本当の思いやりとは？
相手のことを考える。
相手の立場に立つ。